

2012年8月10日

上海・金山「日本中小企業産業園」について

上海産業情報センター

横江 隆弘

今回、上海市西南部に位置する金山区の金山工業園区・日本中小企業産業園を訪問する機会を得ることができました。上海で工業園区というと、松江区とか嘉定区がよく耳にする場所ではないかと思えます。金山区というのは、上海の最西南にあり、江蘇省及び浙江省に接する場所で、市中心部から車で一時間半程度かかります。ここの工業園区内に、上海市が力をいれて、一つの外国の中小企業団地を建設しているとのことで、今回は、その状況を報告したいと思います。

1 上海市金山区及び金山工業園区の紹介



上海市金山区は、その近海にある金山島に因んで名づけられており、人口は約52万人で、面積は、611平方KMとなっています。上海市の中心部から50KM、虹橋空港から50KM、浦東空港から70KM、杭州湾会場大橋から30KMの場所に位置しています。

交通インフラにおいては、「四縦三横」となる7本の高速道路の総延長が100kmに上ります。鉄道関係では、上海杭州

間の高速鉄道を利用すれば、金山北駅から上海虹橋まで約16分、杭州までは約40分となるほか、軌道交通（いわゆる地下鉄）22号線が今年6月末から試験運転が開始され、10月から正式開通される予定になっています。この線を利用すれば、上海南駅から金山まで現在長距離バスで1時間30分かかっていたものが、約30分に短縮されることになります。

気候的には、亜熱帯モンスーン気候で穏やかであり、緑化率も進んでいるほか、上海地域のなかで最も早く県制が敷かれた地域でもあり、なかには800年以上の歴史を持つ楓泾、金山衛、朱泾等の古鎮があります。とりわけ、楓泾鎮は、「中国歴史文化名鎮」「上海八景之一」に選ばれています。また金山の農民画は、世界的芸術珍品と数えられ非常に有名であり、金山農民画村に

は、訪れる日本からの観光客も少なくありません



金山工業園区は、金山区に位置する市クラスの工業園区で、計画面積は58平方キロであり、そのなかに重点発展産業・八つの特色産業拠点があります。①新素材産業拠点、②グリーンクリエイティブ印刷産業拠点、③新エネルギー産業拠点、④バイオ医薬産業拠点、⑤重大装備製造産業拠点、⑥自動車と主要部品産業拠点、⑦食品加工産業拠点、⑧ファインケミカル産業拠点となっており、日本企業の進出は、福助工業、金井特線などとなっています。

また、工業園区内には、2.1平方キロに及ぶ「上海漕河泾総合保税区」（金山機能区）があり、輸出加工と研究開発、保税物流サービスをメインに商品の展示、国際貿易サービス、先物取引、金融サービスなどを行っています。

2 上海日本中小企業産業園について

2011年9月28日に金山工業園区内に上海地区唯一の特定国向けの開発区である「上海日本中小企業産業園区」が設立されました。計画面積は、2.2平方キロであり、その名のとおり集中的に日本の中小企業を誘致されることになっています。計画面積のうち、0.8平方キロは、レンタル工場を中心とした工場団地が設置されます。また、オーダーメイド工場の構築も可能になっています。もちろん、投資が大きくなれば、金山工業区内の適切な産業区・産業基地に立地することも可能です。

また、同産業園内には0.6平方キロの産業セット区が設けられており、オフィス及び研究開発センターとして効率的な利用ができるような工夫が取られています。

隣接する1.58平方キロのエリアを産業サービスエリア（産業社区）として、

主に、生活センター、ビジネスセンター、行政センターを建設して、サービスの向上が図られることになっています。また、ワーカーのための人材マンションも設立されており、南部マンションには、すでに 3000 名以上のワーカーが生活しており、北部マンションも今年中に着工されることとなっています。その他、ショッピングセンター、学校、病院などの生活関連施設の充実も年々快適で安心した生活が過ごせるように整えられていくそうです。



日本中小企業産業園では、主に次の分野を重点的に誘致していこうとしています。

1. 機械製造産業

中小型精密機械、印刷機械、加工機械、包装機械、自動車部品など、

2. 電子情報産業

計器・メーター（測定、分析、制御）、自動化装置と部品（センサー、制御機、サーバ部品）、電子部品、ソフトウェア開発、デジタルメディア技術研究開発、メディア製品（ゲーム、アニメ、ビデオ）製作など

3. 生物医薬産業

医療製品（介助）、医療設備（画像、測定、分析）、生物製薬、生物化学製剤など

4. 環境配慮型印刷産業

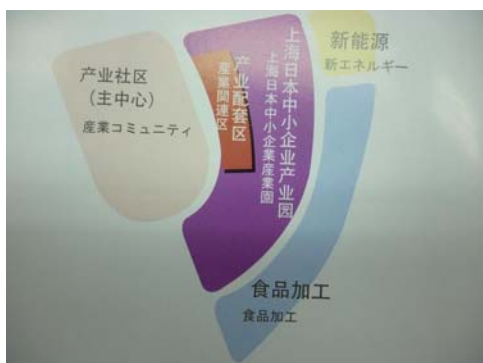
包装印刷、特殊印刷、多機能ラベル印刷、デジタル印刷など

5. 食品加工産業

デンプン糖加工、保健品、レジャー食品、スポーツドリンクなど

3 今後の可能性

日本の中小企業が進出するにあたって、上海市内にあるということは選択上プライオリティが高くなると思われます。また、上海市内の会社で日系企業ということなら、ワーカー確保の面からある一定の面では、効果が高まるかもしれません。そして、税制面での優遇政策のみならず、沿海地域の特性を生かした独自性のあるセールスポイント・メリットなどが盛り込まれるならば、進出



を検討するのに値するのではないのでしょうか。

上海産業情報センターでは今後もこれらの状況に注視していきたいと考えております。